

写真パネル展「アグネス大使のグアテマラ訪問～見えない脅威と闘う“最初の1000日”」リレー展示

グアテマラは貧富の格差や貧困率の上昇などの問題を抱え、5歳未満児のほぼ2人に1人が「発育阻害」に苦しんでいます。痩せ細って衰弱する急性栄養不良と違い、外見には見えにくいために見過ごされがちですが、心身の発達に深刻な影響を与えてしまいます。2016年6月、アグネス・チャン ユニセフ・アジア親善大使はグアテマラを訪れ、発育阻害の実態とともに家庭や地域、医療機関、政府など様々なレベルで取り組まれている、「最初の1000日間」（胎児から2歳まで）の活動を視察しました。その報告写真展を、10月13日から11月9日までみやぎ生協の3か所（文化会館ウイズ、名取西店、白石店）でリレー展示し、多くの方々に見ていただきました。



UNICafe～気軽なユニセフ講座

10月15日（土）、みやぎ生協文化会館ウイズにおいて、世界の出来事や開発途上国の現状に関心を持っていただけるような気軽な学習会を開催し、高校生や大学生、主婦の方など15名が参加しました。①ワークショップ「インドの紙袋作り」から「児童労働」を考える。②学習ビデオ「この世界に生きる子どもたち」と「ユニセフと地球のともだち」を視聴。③パワーポイントと「基礎リーフレット」での説明。④「できるときに、できることを」のボランティア活動の紹介。⑤昼食（ナンとカレー）、チャイを楽しみました。昼食代300円は自己負担です。



出前講座を開催しました

■11月11日、涌谷第一小学校6年の学年行事で「親子でユニセフを学ぶ」機会がありました。児童79名保護者63名、教頭先生と6年の先生方。パワーポイントでの説明と「ユニセフと地球のともだち」の視聴、「水がめ」で水運び、マラリア予防の「蚊帳」をみんなで体験しました。自分たちができることを考えるきっかけになったようです。



■11月14日、みやぎ生協石巻渡波店B委員会主催の「秋のこ～ぶのつどい」で、世界の子どもたちの現状とユニセフの活動、みやぎ生協のユニセフ協力活動についてお話ししました。スクリーンの写真やビデオだけでなく、「蚊帳」「ビタミンAカプセル」「栄養補助食品・プランピーナッツ®」など、実際に手にしました。世界の子どもたちの現状がわかると、募金協力も意義深いものとなります。みなさまに熱心に聞いていただき、感謝です。

11月1日、あさひ幼稚園（南三陸町）の新園舎落成式に参加しました。震災後、ユニセフが長谷部誠選手の寄付で仮園舎を建設しましたが、周辺の宅地造成工事のためこの場所に移転していました。ようやく5度目の引越しで落ち着くことができました。設計士の手塚貴晴さん、由比さんも参加し、増築された本園舎の完成を喜びました。

